昭和50年4月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№281

町の住民登録人口
（50年3月31日現在）前月比
世帯　2,083世帯　−4
人口　8.164人　−18
（男3.857人　女4.307人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

一般会計当初予算 4億5975万円

ヨーイクナナジューゴネン

骨格予算でスタート
諸経費高で前年比二七・八%増

四月一日から五十年度がはじまりました。新年度の町一般会計当初予算は歳入歳出とも四億五千九百七十五万円（ヨーイクナナジューゴネン）です。これは前年度より二七・八%増です。しかし、これは諸経費が高くなったためで実質は昨年同様、どうしても必要なものだけを計上した骨格予算です。今後、国や県の補助がきまれば、追加していくことになります。

財源を重点的に配分
福祉充実に気を配る

中尾町長施政方針

中尾町長の五十年度施政方針の要旨は次のとおり。

編成の基本 町民の生活安定と福祉充実に配慮しつつ、国・県と同一基調で、歳出の増加を抑制するとともに財源の重点的配分と支出の効率化をはかっています。今後の経済情勢の推移によっては機動的、弾力的な財政運営ができるよう配慮しました。

歳入 税の面では個人住民税の免税点の引上げ、個人事業税の事業主控除の引上げ等による減収が、また入湯税は税率の引上げによる増収が予想されるものの全体的には伸びは期待できない。地方交付税、娯楽施設利用税交付金、国庫支出金、県支出金、地方債も不況と総需要抑制の方針に基き期待できない情勢です。

歳出 人件費、その他、どうしても必要とする経費が高くなり当初は義務的経費を主体とした骨格予算となりました。

老人作業グループに補助金
子ども会にも補助

◇交通安全　交通共済加入の老人に一人二百円補助。
◇老人対策前年比二三%増の四千百九十万円を計上。新規に老人育成しており、本年も続いてこれら作業グループに補助金、寝たきり老人にベッドを支給。
◇児童　町独自の年金五百十二万円を組んでいる。町立保育園の保育料は平均六五%引上げとなるが、国の徴収基準額の七五%程度に当る。新年度は入園児の増加により保育室を一棟増築する。阿知須幼稚園には就園奨励費として六万円を、子ども会には二千万円を補助して児童の健全育成をかかる。
◇保健衛生　四百万円を予防費として計上。結核・成人病・循環器疾患検診や自脳、流感など各種予防接種を行う。環境衛生面では防疫薬剤を多量に購入し、無料で配布する。CCL収集は委託料を引上げ、利用者の協力を得るとともに収集者の指導を十分に行ない万全を期す。焼却炉は一百二千万円で修理し、療却能力を高める。母子保健は乳児検診を行ない、町独自の特別出産手当も支給する。

農村モデル事業進める
内容検討は最終段階に

◇農業　稲作転換を昨年同様推進することになるが、町においても国、県の基本方針にそって転換をすすめたい。しかし、基幹となる転換作物がないため、実施農家も年々減少し、割当数量の消化はむずかしい。

農業経営の近代化はまず生産基盤の整備が必要であり、モデル事業によりさらに進めたい。

モデル事業については、昨年から地元、県と連絡をとりながら具体的な事業計画をたて、岡山農政局とも再三協議し、現在、最終事業内容を検討中である。それは①道路関係＝改良舗装おおせて二千五路線、十八キロ、三億一千九百万円②排水路関係＝十二本、十キロ、三億三千一百万円、ほ場整備関係＝引野、河内地区二六・二ヘクタール、一億一千七百万円④環境改善センター＝鉄筋コンクリート二階建、七百四十四平万メートル、一億二千二百万円⑤農村公園＝岩倉、河内地区、二千三百四十五平方メートル、一千万円⑥その他＝防火水槽十か所、一千四百万円　センター公園一千一百万円、総計九億二千四百万円となっている。

道路関係は参宮道路など三路線については一級町道であるため、建設省関係事業で同時施工することも検討中である。

これからの予定は四月上旬に農林省の査定を受け、順調にいけば六月ごろ認可があり、年末には年度事業費の割当がある見込み。

畜産の養豚、肥牛農家は米につぐ出荷額をあげており、大きな産業の一つである。この振興指導費に六十五万円、糞尿処理は振興上大きな問題であり、関係農家、農協と常に協議を続けているが、現在、農協で処理機を試作中である。

都市計画で農協を移転

◇土木　総需要の抑制で一般経常経費の減計上したが、今後の財源の見通しがつき次第、追加補正して補助事業を重点的に行いたい。現段階では農村モデル事業による農村部の道路、排水路等の公共施設を五十年度から年次計画で整備していく方針。

都市計画事業は駅通の線については農協の店舗と事務所の移転を計画しており、国庶補助の内示があり次第、予算化する。

縦貫線（千拓—飛石）は五十年度で用地買収を終り、五十一年から着工したい。

五十年度県事業としては宇部車部農免道路の舗装、中学校前の県道の改修を予定している。

育てる漁業推進
商工には利子補給

◇漁業　獲る漁業から育てる漁業への転換は漁業振興の要素であり、本年も魚礁設置費百万円を計上、昨年、カレイ十万尾、車エビ百二十万尾を放流し、赤貝の養殖試験も行なっているが順調に成育しており、本年も続いてこれらの事業を実施したい。
◇商工　商工振興補助金に二百万円。町独自の振興対策資金、水銀・PCB汚染対策資金に対する利子補給六十六万円。

生活消費物資の供給と価格安定については商工会と連絡をとりながら業者の指導と協力により生活の安定をはかりたい。

◇教育　教育優先の立場にたち本年も予算要求額に近い九八%を計上。一般会計の平均伸び率二七・八%に対し約三三%の伸びである。

社会教育では新たに町史編さん費二百六十万円を組み、五十一年三月発刊をめざしている。

町史は再来年発行をめざす
教育費はほぼ要求額

財政ピンチの国保、水道
独立採算確立で税・料金改正

国民健康保険

医療費の改定、老人医療無料化それに高額医療給付（月三万円を超える分は全額保険で支払い）で国保財政はパンク状態である。これまで一般会計から相当額を繰入れて帳尻を合わせてきたが、独立採算の立場からやむを得ず国保税を約五〇%引上げることに踏切った。新税率は所得割百分の六・五百円、平等割五千二百五十円。（詳細は三百号お知らせ版に掲載）

簡易水道

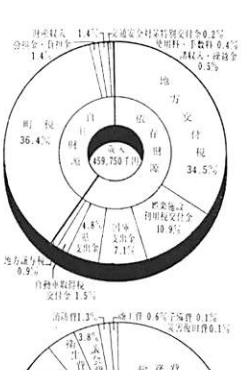
給水原価の七割でもむを得ず料金を平均四三%引上げた。一トン当り八十一円七十銭ぐらいになる。特徴は水を多く使うほど料金が割高につく・逓増料金制・を採用した。新設者の納付金は一万円を三万円に改めた。（詳細は三百号お知らせ版に掲載）

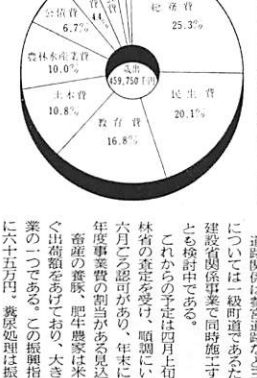
交通災害共済

会費は大人五百円、中学生以下三百円だが、老人には町から二百円の補助金を出す。四十九年度加入者は三千四百八十六人で、加入率約四三%だった。

土地取得事業

現在、公園用地三千九百二十六山林二万七千七百八十、雑地七千八百六十五、原野四万四十九平方メートルを購入している。新年度も残額の範囲で先行取得したい。





選ぶ目が正しく生きてひかる自治
四人が立候補
県議選　投票は十三日

県議会議員選挙はいよいよ四月十三日に行われます。

県全体の定員五十三人。このうち吉敷郡の定員は一人で立候補者は四人です。

投票はいつものように町内四か所で午前七時から午後六時まで。開票は当夜七時半から議事堂で行なわれます。

（届出順）

吉本　五郎　54　無新
藤生　仕郎　55　自現
久保田　衡　55　共新
山下　元光　51　社新

立候補者は次のとおり。

▽第一漁協事務所▽第二役場車庫▽第三一岩倉消防機庫▽第四一農協野口支所

二一三日前までに有権者のもとに届くようになっています。

有権者は投票日までにうすく変色する申請書に所定の事項を記入のうえ、被保険者証と印鑑を添えて提出、その理由が認められたときは、一人だけの被保険者証（一面の上部に、旅行などで長期間住所を離れる場合「特」、修学中の大学生等については「学」と押印）を交付します。

なお、この被保険者証を使用する必要がなくなったときは、町へ返還しなければなりません。

善意はここに

（社会福祉協議会へ）

◇香典返し▽三万円＝福重好雄さん（岩辻）は母キクノさんの▽二万円＝上野隆一さん（小野）は妻マキノさんの▽五万円＝中野敏雄さん（引野）は父次介さんの、佐藤昭典さん（井関）は父北助さんの香典返しとして。

お知らせ

新入児を街頭指導
交通事故から守る

町交通安全対策協議会では、新入学児を迎え、新入園児・学童の交通事故防止のため、八日から十五日まで、街頭指導を行います。

新入園児・学童をかかえている人の家庭での指導はもとより、周囲の人もお互いに、注意して事故を防ぎましょう。特に車を運転する人は、スクールゾーンでのスピードの出しすぎ、登下校時の運転にはくれぐれも注意しましょう。

長期旅行者や学生には国保特別扱い

国民健康保険の被保険者で、旅行や、修学のため長期間現住所を離れる場合は、別個の被保険者証を受けることができます。

手続きは、役場国保年金係に備えてある申請書に所定の事項を記入のうえ、被保険者証と印鑑を添えて提出、その理由が認められたときは、一人だけの被保険者証（有効期限付）を交付します。

有効期限は、旅行などでは、帰動がある見込みですが、現在の登録者は五千八百三十八人です。

投票所は次の四か所。入場券は

3月のメモ

家の中から抜け出して自然に親しむシーズンがきました。桜の花も10日ごろには満開になります。役所も学校も新年度のスタートをきりました。役場の執務事間は終りを30分延長して朝8時30分から夕5時までとなりました。

8日　三校入学式
　　育児相談（後1時）
11日　種痘（後1時半〜2時半）
12日　献血（前9時〜11時半）
18日　豚コレラの予防接種
23日　あじのす大学開講式（後1時半）
24日　婦人学級開講式（後1時半）
27日　町民運動会（前8時半・阿中グランド）
29日　天皇誕生日
〔時間のある催しは役場〕

町の隅から こんにちわ ④

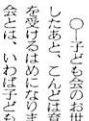
阿知須校区で初の子ども会育成会長

〈町教委から子ども会モデル地区の指定を受けて「北祝区子ども会育成会」を結成し、初代会長になった〉

○―子ども会のお世話を三年間したあと、こんどは育成会の会長を受けるはめになりました。育成会とは、いわば子ども会の後援会です。子ども会活動を通じて健全な子どもを育てるために地域ぐるみで支援しようというわけです。会員は小中学生をもつ親で構成しています。しかし、理想としては現在、子どもがおらなくても、かつては子どもを育てるために地域ぐるみ、よい芽があればよりよく伸びるように手を貸してやることが大切だと思います。

○―会費は一人年五百円です。行事があれば、世話人だけに負担をかけず、親も手助けしようということにしています。引野地区ではそれ以前につくられたそうですが、阿知須校区ではうちが最初です。みなさんのご協力を得て成果をあげていきたいと願っています。

（宇部サイコン勤務・41歳）



井上　泰（北祝）

町の文化財保護へ

条例を制定保存と活用も

第二回定例町議会は三月十日から十七日まで開かれ五十年度予算案など十七議案を審議し、全議案が原案どおり可決されました。

議案は十七件のうち九件が予算関係、あと条例制定が二件、一部改正が六件でした。

報酬関係は昨年十二月に報酬審議会を開いて審議、決定されていたのを今回の提案となったものです。文化財保護条例は郷土の遺産を大事に守り、活用しようというのがねらいです。

〔条例の制定〕

◇町文化財保護条例＝国や県の文化財に指定されたもの以外で、本町に存在する重要な文化財の保存、活用の措置をし、町民の文化向上をはかろうとするもの。

この中には有形、無形の文化財や民俗資料、記念物が含まれます。指定は町教育委員会がするが、その際、町文化財審議会の意見を聞くことになっており、指定文化財には管理の補助金を出したり、修理の措置ができるようになります。

〔条例の改正〕

◇消防団条例＝四月から出動手当一回千三百円（現行千円）に。

団員の年報酬を階級別に最底六千円（五千円）から最高二万四千円（二万八千円）までに改める。

◇合同納骨塔の設置及び管理条例＝町外の者が納骨するときは二十万円（現行十五万円）に。

◇町報酬及び費用弁償条例＝議員、教育委員、農業委員、農業委員会委員、教育委員会委員の報酬を次のとおり改める。

	新	旧
議長	月七、〇〇〇円	月四、〇〇〇円
副〃	六、〇〇〇	四、〇〇〇
委員長	五、〇〇〇	三、〇〇〇
議員	五、〇〇〇	三、〇〇〇
教委長	年九、〇〇〇	年五、〇〇〇
〃	八、〇〇〇	六、〇〇〇
教委員	四、〇〇〇	三、〇〇〇
農委長	年五、〇〇〇	四、〇〇〇
農委員	四、〇〇〇	三、〇〇〇

町内あれこれ

進学希望者全員が入学

阿知須中の卒業生

今春の阿知須中学校卒業生百九名（うち就職一名）のうち百七名（九八・二％）が進学（定時制一名）しました。内訳は県立高校へ六十八名（六三・六％）国立高専へ三名（二・八％）私立高校へ三十六名（三三・六％）となっており、進学希望者全員が入学できました。

各校の入学者数はつぎのとおり（カッコは合格者数）

〔公立〕

	男	女
山口	一三（一三）	
山口中央		八（八）
山口農業	四（四）	三（三）
宇部	六（六）	六（六）
宇部中央	二（二）	三（三）
宇部工業	一〇（一一）	
宇部商業	三（三）	二（二）
宇部農芸	三（三）	
小野田工	三（三）	
宇部工専	二（六）	二（一）
宇部工専（私立）		一（一）
野田	五（一一）	
多々良	〇（一）	
山口鴻城	六（一七）	一（一）
宇部鴻城		二（三一）
宇部女子	一（六）	
香川		一（一八）
サビエル		九（一四）
（県外入学）		〇（七）
山陽女子		一（一）

黒谷池をつつじの名所に

引野老人クラブが花木を植える

県谷溜池をつつじの名所にしようと引野老人クラブ員がこのほど近くの黒谷池周辺に三百本の苗木を植えました。

黒谷池は昨年、えん堤の工事が完成、余水吐付近はキャンプや野外レクリエーションにふさわしい場所になりました。

このため、近くに住む引野地区の老人クラブ員が緑化と環境整備を計画、花木を多数植えることになったわけです。

これまでに、つつじ三百本、ムクゲ三十本、あじさい五十本、ナンキンハゼ三百本を植えました。

しかし、せっかく植えた木をもう持ち去るものがあり、この老人たちを嘆かせています。

「木を盗らないでください。もし持ちある人を見たら注意してください。お年寄りの善意に花を咲かせ、名所となるようにみんなで協力し合いましょう。

砂郷が二連勝

町内駅伝競争

第二十五回町内駅伝競争は十一チームが参加、三月二十三日、阿知須小グランドをスタート、ゴールの阿中グランドまで、七区間十五・九キロのコースで行われ、砂郷チームが参加、三月二十三日、阿知須小グランドをスタート、ゴールの阿中グランドまで、七区間十五・九キロのコースで行われ、砂郷チ

〃	井関	阿知須	三時　郷久
〃	豊東	阿知須	石川久美子
〃	林　道彦	北村千代子	復職　井関
阿川	浩志	三瀬	修（飛石）国重康彦（向井関）
〃	〃	〃	永義夫（岡）中田嘉明（西条）

（中学校）上政が新任

（校長）

県教育庁保健体育課長　藤沢　菊治　阿知須

阿知須　松永　泰明　下関吉見

（教諭）

小串小　福永　和子　阿知須

阿知須　中林　浩司　小郡

（小学校）

三時　郷久　阿知須

石川久美子　〃

阿知須　林　道彦　井関

北村千代子　復職

阿川　浩志　三瀬

教員の異動

十九名に認定証

ソ・ボール三種審判員

県ソフト・ボール協会主催の第三種公認審判員の認定講習会がこのほど阿知須中学校で行われ、次の十九名に審判員の認定証が渡されました。

公式試合のうち郡大会以下はこの人たちが正式な審判員となることができます。

県下ではこれまで二千二人の三種審判員がいましたが、本町ではじめてです。

資格取得者は次のとおり。

（校長）

青木潔（浜）田村稔（砂一）大井田の山の谷間に咲きし山桜懐しみ

空閑晴（浜表）長久寛（小西）長つつ蒸薬掃きおり

星建樹（岩西前）吉野齊代博（砂一）福田光男（信用金庫）酒井好孝（南務）須崎俊夫（中村）松重仁（西条）郡良男（中村）福岡芳博（浜表）鵜吉学（鍬地）福場博人（鵜南）山田義興（岩前）辻田修（飛石）国重康彦（向井関）松永義夫（岡）中田嘉明（西条）

慶弔録

出生（おすこやかに）

父　続柄　子の名　月日　部落

林真一郎　長男　和明2・28　南祝

岡野彦　長女　愛子3・1　小南

古谷　篤　長男　信也3・5　赤迫

朱美3・22　西条

賀靖3・4　岩上

英二3・18　鵜南

春樹3・21　前山

長男　泰樹

長男　武二

山野

植田征司

江本初男　二男

上重正男　二男

鵜川重光　長女

田中純夫

敬子（松尾）宮崎県南郷村

宮崎敏定　新南陽市富田

美江（金田）中村

滝本鉉二　東京都世田谷区

初江（長井）河内

藤本　憲　厚狭郡楠町

志津子（中谷）砂二

大野哲朗　北祝

優美子（八幡）千葉県松尾町

婚姻（おしあわせに）

福重　明　寺河内

時江（上野）宇部市東須恵

坂田洋祐　野口

佐智子（渡辺）小郡町下郷

恵子（武永）鵜北郷

小郡町

河内　博　宇部市中宇部

真理子（田辺）岩西

江見寛樹　宇部市東岐波

名智友義　宇部市東須恵

加代子　伊藤）目東

村長利夫（松本）宇部市油宇部

真理子　仙在

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年令	部落
上野マキノ	3・3	71	小南
久郷内支郎	3・6	82	枝川
中野　次介	3・11	71	引野
佐貫　坂一	2・27	70	砂一

緒方五夫　早苗（青柳）埼玉県蕨市

細田美　琢子（松本）宇部市小串

沖永清治　小西

恵子（工藤）小西

久冨昭彦　佳代子（藤本）小野田市

あじす再発見 ⑰

遠石島

江戸時代から明治、大正を経て昭和十年代まで、阿知須浦には帆船の所有者が多く、乗組員や船の関係者も多かった。

記録によると約百三十年前に米船が六十隻おり、これは漁船と同じ数だったという。

これらの船は江戸時代から明治の中ごろまでは米船、そのあとは石炭船として活躍し、阪神方面への航海が盛んであった。

もともと本町の沖合は秋穂半島に囲まれた天然の良港で、ここの沖合に停泊し、食糧を仕込んだり船底をたたたり、修理をしたりしていた。

そして、砂郷の沖合約八百メートルの地点に周囲三百メートルばかりの遠石島があるのに目をつけた船主や地有志が阿知須運船株式会社をつくり、造船所を設けて大正八年に創業、のち回船業組合が経営を引継いだりして終戦後まで続いた。

現在、この遠石島は干拓地の中に入ってしまったが、それまでは満潮時には水深二メートル余になり、干潮時には干潟となって潮干狩の名所となっていた。

造船所の面影は少しも残っていないが、大きな岩石、石の鳥居、干拓造成記念碑がわずかに往時をとどめている。

干拓は農林省の直営工事として昭和二十二年十二月から着工三十九年に完成、二百八十六ヘクタールの土地をつくりあげた。

石炭輸送に活躍していた船は太平洋戦争の始った昭和十六年には八十五隻（うち機帆船十五隻）おったが、輸送船に徴用されたり、老朽化したりで、終戦時には僅かになった。

八十五隻の内訳は三百トン積二十隻、二百トン三十、百トン二十百トン以下十五隻だったという。

いまなお、宇部地区の船舶の乗組員が多いのも、こうした影響を受けているといえよう。

干拓造成後、船の出入りが途絶えていた本町沖も、昭和三十八年若山産業阿知須合板工場が海岸にできてからは、ラワン材を積んだ船が入ってくるようになった。そして四十六年七月一日から山口港として「開港」の指定を受け、国際貿易港として四～五千トン級の船が出入りしている。

遠石造船所と潮干狩の人たち（昭和の初めごろ）

みんなの子広場

あなたの文芸作品やご意見お気づきのことなど未発表のものをお寄せください。

短歌

浜　正司ウメノ

冬ごろも一枚つつを減らしゆく春待ちわぶる老いたる吾は

小東　松尾　君代

れんげ咲きひばら鳴く日は紐つきのぞうりはかせて歩かせてみむ

小西　平海アサノ

青木潔（浜）田村稔（砂一）大井田の山の谷間に咲きし山桜懐しみ

空閑晴（浜表）長久寛（小西）長つつ蒸薬掃きおり

小西　松尾ウメコ

うす氷はりたる池のかたすみに体ひそめて鯉のよりそう

小西　薄本　喜一

冬雪に藪の柔弱地につきて改革ま

砂一　松代　一郎

開発の備えに置きし町役場の真砂土の山に春日待ち

砂一　橋本　淑子

去年までわが庭に来し目白らの姿見ぬまま黄楊の実減りぬ

岩西　中本　満枝

新しき春の日着むと毛糸編む機械のリズム希望にあふるる

岩西　中本　幸枝

つつましく絵羽織を着て娘と並び桜門出でし今日の嬉しさ

砂三　浜崎　恒子

受験日の朝を迎えし娘を送り十五の春にあれと願う

浜　石田サダ子

釣糸を垂るる岩場の足もとに朝のうしほの白き泡立ち

恵比須　中村美津子

忙しき艶日が過ぎてめぐる島渡り士になな雨えおり

北祝　原田　双恵

おちこちの拝らに着せる毛糸編む一人の日日によろこびのあり

砂三　渡辺　宮子

夕暮るる中原に漁業を洗ひしがかざ捨て菜の白く目にしむ

砂三　藤永ツノ

活花の少なくなりし寒中に造花のバラを立てし食卓

砂一　橋本　淑子

去年までわが庭に来し目白らの姿見ぬまま黄楊の実減りぬ

岩西　中本　満枝

新しき春の日着むと毛糸編む機械のリズム希望にあふるる

岩西　中本　幸枝

つつましく絵羽織を着て娘と並び桜門出でし今日の嬉しさ

砂三　浜崎　恒子

受験日の朝を迎えし娘を送り十五の春にあれと願う

浜　石田サダ子

釣糸を垂るる岩場の足もとに朝のうしほの白き泡立ち

恵比須　中村美津子

忙しき艶日が過ぎてめぐる島渡り士になな雨えおり

役場の窓

◆・新年度に入りました。予算の記事でもふれているように、節約ムードの中でのスタートです。役場の光熱費も大幅削減です。昼休みには庁内消灯するほか、消耗品等についても節約につとめています。

経済通の予想では景気はいまが底となった。秋には上向き歩調に入るだろうとのことですが、今回の狂乱物価、そして不況をよく体験として、ムダのない日常生活を送るよう心していきたいものです。

◆・区長・納税組合長・その他地区の役員が始ど変られました。これまで勤められた方々ご苦労でした。新しい役員の方々よろしくお願いします。

◇　◇　◇